

## リニアテクノロジー、新製品「LTC2655」を販売開始

最大 INL  $\pm 4\text{LSB}$  を達成した、リファレンス内蔵 16 ビット、クワッド  $I^2C$  DAC

2010 年 8 月 4 日 - 高性能アナログ IC のリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、リファレンスと  $I^2C$  インタフェースを備えた、クワッド電圧出力 16 ビットおよび 12 ビットのデジタル・アナログ・コンバータ(DAC)ファミリ「LTC2655」の販売を開始しました。LTC2655 は、小型 20 ピン 4mm x 4mm QFN パッケージと 16 ピン細型 SSOP パッケージで供給され、評価用ボードも供給中です。1,000 個時の参考単価は、12 ビット・バージョンが 504 円(税込み)から、16 ビット・バージョンが 1,229 円(同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細情報は [www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp) をご覧ください。

LTC2655 は、INL が全温度範囲で最大  $\pm 4\text{LSB}$  の 16 ビット性能を達成しており、16 ビットのクワッドで最も近い競合デバイスと比較して、4 倍の性能向上が図られています。 $\pm 2\text{mV}$  (最大)のオフセット誤差と 0.1% (最大)の利得誤差を両立したことで、電源レールに近い変換でも高精度を維持し、有効な出力範囲が広がっています。LTC2655 は、マルチ・チャンネルの開ループおよび閉ループ・システムに適しており、モバイル通信、計測、プロセス制御や産業用オートメーション、自動テスト装置(ATE)、車載システムなどのアプリケーションに最適です。

LTC2655 の内蔵リファレンスは標準 2ppm/ $^{\circ}\text{C}$ 、最大 10ppm/ $^{\circ}\text{C}$ の温度係数を達成しています。小型 20 ピン 4mm x 4mm QFN パッケージと 16 ピン細型 SSOP パッケージで供給されるので、高密度な回路基板でスペースを節減します。ハーフスケールのステップに対するセトリング時間が  $9.1\mu\text{s}$ 、クロストークが  $1\text{nV}\cdot\text{s}$  未満と AC 特性も卓越しており、DAC チャンネル間の干渉は最小限です。LTC2655 は 2.7V~5.5V の単一電源で動作し、最大 400kHz の 2 線  $I^2C$  互換インタフェースを介して通信を行います。

LTC2655 にはアプリケーション固有の要件を満たすために、幅広い選択肢があります。設計者は 16 ビットまたは 12 ビットの分解能と、2.5V または 4.096V のフルスケール出力電圧を生成する 1.25V または 2.048V のリファレンス(内蔵)を選択可能です。また、電源電圧の半分までの外部リファレンスを使用して、レール・トゥ・レール動作を行うことができます。さらに、起動時の DAC 出力をゼロスケールまたはミッドスケールにハードウェアで選択できるので、最初の電源投入時に DAC 出力をグラウンドに強制できない設計に対し柔軟性が向上しています。LTC2655 は、ハードウェア・ロード DAC (LDAC)ピン、27 の固有  $I^2C$  アドレスまたは 1 のグローバル・アドレスを選択できる 3 本のアドレス・ピン、さらに REFLO ピンを備えています。

### LTC2655 の主な特長:

- 最大 10ppm/ $^{\circ}\text{C}$ のリファレンスを内蔵
- 最大 INL 誤差: 16 ビットで  $\pm 4\text{LSB}$
- 全温度範囲で単調性を保証
- 内蔵リファレンスまたは外付けリファレンスを選択可能

最大 INL  $\pm 4\text{LSB}$  を達成した、リファレンス内蔵 16 ビット、クワッド I<sup>2</sup>C DAC

- 電源範囲: 2.7V~5.5V (LTC2655-L)
- リファレンス・バッファ内蔵
- 非常に小さい DAC 間クロストーク: 1nV・s 未満
- ゼロスケールまたはミッドスケールにパワーオン・リセット
- 非同期 DAC 更新ピン
- 小型 20 ピン 4mm x 4mm QFN パッケージと 16 ピン細型 SSOP パッケージ

フォトキャプション: INL  $\pm 4\text{LSB}$  (最大)、10ppm/°C(最大)リファレンス内蔵の 16 ビット/12 ビット・クワッド I<sup>2</sup>C DAC

Copyright: 2010 Linear Technology Corporation

###

## リニアテクノロジーについて

リニアテクノロジー(Linear Technology Corporation, Nasdaq: LLTC、本社: カリフォルニア州ミルピタス)は 1981 年の設立以来、高性能アンプ、コンパレータ、電圧リファレンス、モノリシック・フィルタ、リニア・レギュレータ、DC/DC コンバータ、バッテリー・チャージャ、データ・コンバータ、コミュニケーション・インターフェース IC、高周波信号コンディショニング IC、 $\mu$  Module など、多岐にわたる高性能アナログ半導体を提供しています。リニアテクノロジーの高性能アナログ半導体は通信、携帯電話、各種ネットワーク製品、コンピュータ、コンピュータ周辺機器、ビデオ/マルチメディア、産業計測、セキュリティをはじめ、デジタル・カメラ、MP3 プレーヤー、医療、自動車向け電子部品、FA、プロセス制御、軍需・防衛に至る、あらゆる分野で使用されています。リニアテクノロジーは 1986 年に株式公開、2000 年には S&P500 企業に選ばれています。

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

### メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西 (かさい)

TEL: 0422-47-5319 Email: linear-pr@miacis.com

### 記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291 (代表) www.linear-tech.co.jp

### 本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

jhamburger@linear.com 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com 408-432-1900 ext 2233

以上